

オランダの対距離課金制度についてのドイツ交通相見解(南ドイツ新聞

(Süddeutschen Zeitung)によるペーター・ラムザウアー連邦交通相インタビュー)

| | |
|------|--|
| 掲載日 | 2009年12月24日 |
| 国名 | ドイツ |
| 分類 | 料金 |
| 出典 | 連邦交通省(HP) |
| タイトル | Interview des Bundesministers Dr. Peter Ramsauer mit der Süddeutschen Zeitung am 24. Dezember 2009 |

<記者> 今度オランダでは衛星で全ての自動車の動きを把握する通行料金徴収制度を導入しますが、これはドイツにとって「お手本」になりますか？

<連邦交通相> 「ビッグ・ブラザー(訳注: 課金装置のことか)」を同乗させることは、つまり、そいつが全てのドライバーの動きを車庫を出るときから記録しているということでしょう。私はそんな制度には参加しません。そのシステムは収益上の限界値ぎりぎりですし、またその他の点でも技術的に困難です。